



墨東の学び

第2学期開始号
+ 「防災の橋」号外
都立墨東特別支援学校
校長 田村 康二郎

水泳&スポーツ・芸術・読書…学び充実の2学期スタート!

2学期<9,10,11,12月>のスタートです。総合防災訓練 part II 及び中1生対象宿泊防災訓練、校外学習のセカンドシーズンも到来です。もちろん、学期末の墨東祭に向けて、日々の学習もしっかりと積み上げていきます。

屋上プールを用いた学習も再開します。今回から2学期のプール利用期間を拡大することにより、学期中のプール利用機会を拡充しました。

本号では、夏季休業中の諸活動の報告、防災・災害対応今後の日程等をお伝えします。

<報告>墨東きれいプロジェクトを7/22・8/28に実行

全教職員と用務員(民間企業に業務委託)で校内各箇所を分担して、整理整頓・廃棄・清掃・美化を行いました。

- ◆各教室・特別教室の整理・美化、残置不要物品の廃棄
- ◆避難用外スロープ2カ所の高圧洗浄(開校以来初清掃)
- ◆中庭・2・3階教室ベランダの高圧洗浄(同)
- ◆中庭にあった「通称:亀プール花壇」跡の残土等の撤去
→SBや医療的ケア児専用車両の乗降スペース拡大へ
- ◆3階生活訓練室(和室等)の残置物品の撤去・廃棄
- ◆4階で保管の「災害時備蓄物品」整理と保管方法の改善
- ◆昇降口上の2階小ラウンドのペイント→ライブラリ化へ
- ◆給食調理厨房等の改修及び収納物の整理
→未使用新品の介助用食器・食具の余剰分を肢体不自由
在校生・卒業生避難時用として災害備蓄用品に移管
- ◆PTAの協力を得て、現PTA執務室内の整理と残置物品の整理・廃棄・移管→将来、教室化も可能な状態へ
- ◆体育館に付属の予備控室を整理・清掃と美化を行いました。3階ギャラリーから数段の階段の先にある予備控室ですが、備付のエアコンも良く冷えることが確認できましたので、今後活用をしていきます。

<報告> 総合防災訓練Ⅰを8/27に実施しました!

夏季休業中の8月27日(火)午後、本校全教職員が参集して総合防災訓練Ⅰを行いました。災害時に運用する組織体制を実際に運用し、各防災班に分かれて「避難所設営訓練」「帰宅困難者支援ステーション開設訓練」「非常発電機器始動訓練」「非常食喫食準備訓練」等々を行いました。

同時に学校防災教育推進委員会を招集し、猿江二丁目

町会長様、江東区防災担当者様、管轄の消防署・警察署の各御担当の委員の皆様にも実際に訓練に立ち会っていただき、改善等の御助言をいただきました。

<医療的ケア児のためのバックアップシステム> この委員会の中で、医療的ケアを必要とする児童・生徒が予期せぬ事態に遭遇した際の不安を解消するために、緊急時の機器・用品等のバックアップに関する情報を「登下校の通学編」「在校時編」「災害などの帰宅困難時編」に分けてスライドに図式化して委員に御説明したところ、「すぐ保護者に情報提供した方が良い」との賛同を得られましたので、今後お配りする防災通信「防災の橋」の発行を待たずに、本号特別付録として提供いたしますので、後ページを御覧ください。

この内容は、医療的ケアのあるお子さんのみならず、どのお子様にとっても、万一の際に安全度を高めることのできる情報ですので、全保護者と共有いたします。

<保護者見学> 今回は、「PTA役員に限らず、保護者の方ならどなたでも総合防災訓練を見学できます」と御案内したところ、5名の方が来校され、各訓練をつぶさに見学されました。さらに、全教職員と委員が一堂に会しての訓練報告と改善提案の場にも御同席くださり、保護者視点で



の励ましもいただきました。ありがとうございました。

9月末には本校の墨東生も加わって、総合防災訓練Ⅱ「本校中1の墨東生対象の一泊二日宿泊防災訓練」へとステップアップしていきます。

＜報告＞ 全教職員対象の授業力向上研修全3回を実施！

8月20、21、29日の3回（各回50人程度）に分けて宮城武久先生と宇川和子先生を講師に、障害のある子供たちの「考える力」を養う基礎的な支援方法『数の基礎学習～導入期の指導をとおして～』をテーマに、算数・数学の基礎となる数の概念形成に関する『数の合成分解の学習』方法をワークショップ形式で学びました。教材の提示位置・操作のタイミング・言葉掛け・褒め方、学習者の視線把握と支援方法・教材の撤去のタイミング、学習の始めと終わりの徹底などを模擬個別指導という方法で子供役と指導者役とを入れ替りながら心理体験を通して実感しました。

＜聴講希望の本校保護者の方も一緒に受講＞ 保護者の皆



さんにも「聴講できます！」と御案内したところ、7名の方が御参加くださり、共に学び合いました。

＜保護者学習会予告＞ 関連する内容ですが、「子供の分かる力を伸ばす家庭での接し方」に関する宮城先生を招いての保護者向け学習会2回目は11月6日（水）午前に予定しています。別途、御案内します。

＜報告＞ 8/19・20 全肢P石川大会に会員代表が参加！

8月19・20日に金沢で開催の全国大会では、全国各地のPTAが活動の工夫（負担軽減や運営方法の改善他）や独自の取組みなどを報告した上で、変化の激しい時代にあって、どのように保護者と学校が繋がって、子供たちを健全育成し、卒業後も豊かに生きられるように支えていくのかを分科会ごとに率直に意見交換をしました。文部科学省・こども家庭庁・厚生労働省等の担当者の方々も、肢体不自由児とその家族を支えるための最新の施策などについて情報提供をしてくださいました。

主催者である有吉全肢P連会長（光明学園会長）様からは

大会前日、鉄道で往復可能な能登半島七尾地区の被災地域に実際に伺って得た体験をお話くださいました。一見被害のなさそうな特別支援学校の校舎も裏側に回れば、擁壁が割れていて息をのんだこと、七尾港に向かう道に面した住宅の幾つかは、傾き崩れて車を押しつぶしたままで残っていて、平衡感覚が狂うような未知の体験だったそうです。こうした体験を踏まえて、被災後9か月近く経過後の今も復興途上の地域と、そこで暮らす肢体不自由児等を抱える御家族に対してのお見舞いの言葉を発してくださり、大会を運営される石川の保護者と教職員の皆様との離れていても「全肢は一つ、支え合い、助け合い」の連帯を感じ取らせてくださいました。

有吉会長様は、全国の会員肢体不自由校PTAからの教育・福祉・医療・就労等の充実への声を熱心に取りまとめでくださり、先日、政府各省に出向いて要望書を届けてくださいました。今大会でも大会宣言文に各方針を決議し、政府担当者の前で読み上げて保護者の思いをお伝えする機会を作ってくださいました。

最終日の会員研修では、医療的ケア児と御家族の支援に奮闘されたコーディネーターの方が、被災されたケースをもとに、被災時の対応について種々の視点を示してくださり、会場の皆さんは真剣に聞き入っていました。

本校PTAからは本大会に、保護者会員を代表して役員のお二人、教職員会員を代表して、副校長1名、主幹教諭1名、学校介護職員1名が参加しました。（校長は本校教職員かつ大会運営役員として参加いたしました。）

【部活動ボッチャ】 CIAO カップ出場 (7/27)

部活動に参加している中学部・高等部の生徒が出場しました。大会の結果を掲載します。健闘を讃えます。

Fリーグ第3位 墨東旋風 kidsα

Gリーグ準優勝 墨東旋風 kidsβ

【小学生ボッチャ大会】 出場 (8/25)

8月25日に都立花畑学園にて行われた「小学生ボッチャ大会」に本校児童3名が、交流校である毛利小学校の児童とチームを組み、参加しました。予選リーグ2勝1敗、得失点差で惜しくも3位でした。健闘を讃えます。

＜予定＞ 全校保護者会を9/25(水)AMに開催します！

今年度第2回目の全校保護者会を第2回目の授業参観日に合わせて開催します。今後予定されている教育活動、都が方針を明示した「働き方改革実行プラン」を受けて、本校の来年度の教育活動はどのように変わっていくのかについて、最新の方向性をお示しします。（別途、開催御案内をお送りします。）

校長 田村康二朗

医療的ケア児のためのバックアップシステム - 登下校の通学時編 -

東京都立墨東特別支援学校

防災教育推進委員会
災害対策委員会

医ケア児専用通学車両（看護師同乗）内への緊急時バッグ配置

※緊急時、対象児持参機器の不調時に使用

毎週1回、充電状況を学校看護師が確認し、学校内で充電・補充。

- 電動吸引器と吸引器用洗浄水 ○アンビューバッグ ○酸素ボンベ
- 吸引チューブ ○アルコール消毒液 ○使い捨て手袋 ○SpO₂モニター
- 清浄綿 ○充電コード 等

同車両への常備品

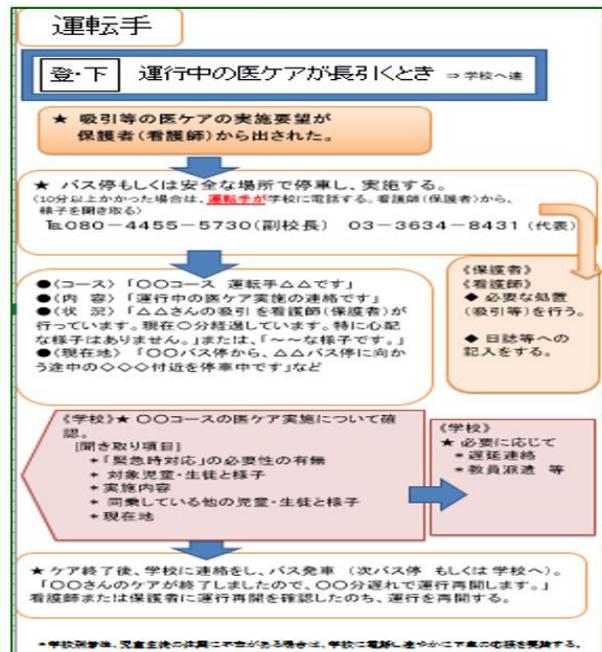
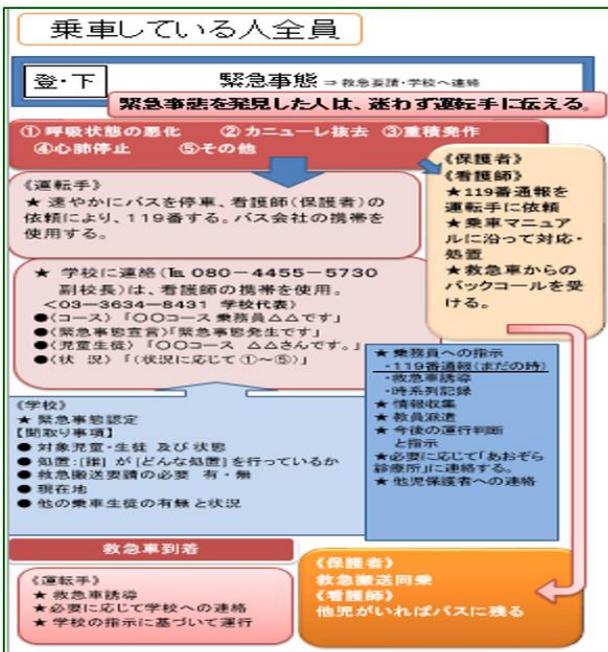
- 毛布、タオル類 ○保温シート ○ティッシュペーパー
- 嘔吐処理セット ○消毒液、使い捨てエプロン ○マスク ○新聞紙 等

緊急時対応手順マニュアルの配備+緊急連絡手段確保

- 緊急時の対応手順マニュアル（次ページ）は車両ごとに配備
- 緊急時連絡先一覧を含む対象児情報ファイルは、対象児本人が携行
- 同乗する学校看護師は学校携帯電話を携行+運転手側会社携帯番号も学校把握



車両に常備している 緊急時対応手順マニュアル



医療的ケア児のためのバックアップシステム － 在校時編 －

東京都立墨東特別支援学校

防災教育推進委員会
災害対策委員会

校内予備物品の確保

- 電動吸引器／各棟配備5台（緊急時用に南北各棟各階に1台ずつ）
保健室配備5台
- 酸素ボンベ／保健室配備10本
- アンビューバッグ／保健室配備4個（大小各サイズ2個）
- 携帯用大容量バッテリー／保健室配備 1台（常時フル充電）



緊急出動セット



各棟・各階への配備セット



大容量バッテリー



酸素ボンベ

緊急時マニュアルの整備

- 個に即した緊急時マニュアル全員分を保健室常備
- 緊急時の対応訓練の定期実施 ※教職員役割分担の実地確認

医療的ケア児のためのバックアップシステム － 災害など帰宅困難時編 －

東京都立墨東特別支援学校

防災教育推進委員会
災害対策委員会

インフラ系備蓄品

- 発電機16台／ガソリン型4台、カセットボンベ型10台、充電型2台
- 備蓄燃料／ガソリン40ℓ、カセットボンベ400本
- クイックシェルター／10張 ※医療的ケア・衛生管理・救護・休養用
- その他／電動吸引機（校内配置10台）、投光器等

経管栄養を行う児童生徒用のための備蓄

- 学校側備蓄用品／滴下容器とチューブ等のセット、消毒綿
- 個人別の備蓄／個別3日間分の栄養剤・器具・手順書セット ※保護者が学校に預託
- 学校側備蓄食品等／ポカリスエット、カロリーメイト（液体）各300本

一般備蓄

- 学校側備蓄食料／形態食を含む非常食＋飲料を在籍者3食×3日分 ※都教委基準
- 学校側備蓄物品／毛布、テント型トイレ、組立ベッド他
- PTAによる自主備蓄品／水、五目御飯、チョコチップパン等 ※PTAが学校に預託



発電機



PTA備蓄



注入セット



災害備蓄